

ながさき農林業大賞運営委員会会長賞

運営委員会長賞

受賞部門：露地野菜部門（トップファーマー）

法人名（設立年）

株式会社 エムピーフーズ

（平成 28 年）

代表者名

代表取締役 みやもと たつや
宮本 達也

取締役 みやもと ゆうこ
宮本 優子

市町名 雲仙市

所属団体 —



1 経営の概要

	主品目（ばれいしょ）	その他（レタス、スイートコーン等）	合計
作付面積(頭羽数)	1,100a	レタス 400a スイートコーン等 140a	1,640a
単収	2,800 kg/10a	—	—
生産量（販売量）	415t	420t	835t
労働時間 （うち雇用時間）	—	—	18,800 時間 (14,160 時間)
役員数	2 人	経営の継続性	法人化済（平成 28 年）
労働条件の整備	—		
安全・安心と環境に調和した農業の取組	夏場に緑肥の作付及び鋤き込みを実施、生産履歴記帳、資源循環（地域内資源利用）		

2 受賞理由（特徴的な取組）

- (1) 土壌流亡対策や環境負荷低減、景観保持のため夏場にひまわりを栽培し土壌物理性の改善や減化学肥料の栽培にも取り組む等、環境に配慮した農業を実践している。
- (2) 赤土で生産した馬鈴薯を独自ブランドの「愛の Love Potato」として販売し顧客を確保している。
- (3) 規格外品等の青果として販売できない馬鈴薯の皮むき加工に加え、内食需要の増加を見込み、馬鈴薯やスイートコーンの6次化商品（レトルト）の開発を食品開発支援センターと共同で取り組み、一部商品化している。
- (4) 農福連携の取組として、馬鈴薯の袋詰め作業や皮むき作業などを市内の福祉事務所に委託している。さらに、特定技能外国人2名を周年雇用するなど担い手対策において先進的な取組を実践している。



収穫作業中のみなさん

運営委員会長賞

受賞部門：施設野菜部門（トップファーマー）

氏名

よしだ たかひろ
吉田 隆洋

市町名 雲仙市

所属団体 JA 島原雲仙

なんこういちご部会



1 経営の概要

	主品目（いちご）	その他（モロヘイヤ）		合計
作付面積(頭羽数)	140a	60a		200a
単収	6,480 kg/10a	—		—
生産量（販売量）	90.7t	14.3t		—
労働時間 (うち雇用時間)	—	—		38,560時間 (29,760時間)
家族従事者数	4人	経営の継続性	経営主が60歳以下	
労働条件の整備	就業規則に関する規定有			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	100%有機質肥料使用、天敵利用、長崎県版 GAP（熟練者用）実践			

2 受賞理由（特徴的な取組）

(1) 施設については、地域の遊休ハウスを借受け、効率的に規模拡大を行っている。

大規模経営に伴い、地元の雇用の創出や外国人研修生の受入も積極的に行っている。

(2) 調整作業の効率化のため、個人でパッケージセンターを開設するとともに、自動フィルム張機や大型の冷蔵庫を導入することで省力化や品質向上につなげている。

(3) 販売会社である株式会社キチ・フィールド（令和3年2月）を設立し、いちごのブランド化並びに新たな販路確立に着手している。



いちごの収穫作業

運営委員会長賞

受賞部門：果樹部門（トップファーマー）

氏名

なかむら ひろや
中村 弘也

市町名 波佐見町

所属団体 長崎県中央農協みかん部会



1 経営の概要

	主品目（柑橘）	その他（水稲、野菜）	合計
作付面積(頭羽数)	温州みかん 260a 中晩柑 30a	水稲 5a 野菜 5a	300a
単収	温州みかん 2,795 kg/10a 中晩柑 1,676kg/10a	—	—
生産量（販売量）	温州みかん 64.3t 中晩柑 5.0t	—	温州みかん 64.3t 中晩柑 5.0t
労働時間 (うち雇用時間)	4,700 時間 (960 時間)	100 時間 (0 時間)	4,800 時間 (960 時間)
家族従事者数	2 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	有機質主体の肥料設計、長崎県版GAP（初心者用）実践		

2 受賞理由（特徴的な取組）

(1) 基盤整備と同時に温州みかん全園を高畝栽培に改造するとともに、結実樹齢に達した園では全園シートマルチを被覆して高品質果生産に取り組む等、高品質化、多収化を実践している。

(2) 根域制限栽培やシールドイングマルチなど新しい栽培方式を積極的に導入するとともに、過冷却促進物質によるす上がり軽減の試験を実施するなど先進的取組に積極的である。

(3) 部会内の研究会組織で新技術に率先して取り組み、部会員へ情報提供し、品質向上に寄与している。



作業道の草刈作業

運営委員会長賞

受賞部門：花き部門（トップファーマー）

氏名

よねもと じゅんじ
米本 順二

よねもと みちこ
米本 道子

市町名 佐世保市

所属団体 長崎県花き振興協議会鉢物部会



1 経営の概要

	主品目（苗物・鉢物）	その他（ ）	合計
作付面積(頭羽数)	20a	—	20a
単収	69,500ポット（鉢）/10a	—	69,500ポット（鉢）/10a
生産量（販売量）	139,000ポット（鉢）	—	139,000ポット（鉢）
労働時間 （うち雇用時間）	7,409時間 (2,609時間)	—	7,409時間 (2,609時間)
家族従事者数	2人	経営の継続性	—
労働条件の整備	—		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	減化学農薬への取り組み（防虫ネットの設置、生物農薬の使用）、生産履歴記帳		

2 受賞理由（特徴的な取組）

(1) 多彩な品目導入や圃場での占有期間が短い花壇苗の作型構築、電熱温床マットとロング肥料の組み合わせによる発根、発芽率の向上により回転率を上げ、収益の向上を実現している。

(2) 経営主は県オリジナルのラベンダー研究会等、組織の中心となって輸出に向けた課題解決に取り組むとともに、妻は香港でプレゼンテーションによるPRや市場情勢調査を3回にわ

たり実施するなど、県オリジナルラベンダーの知名度向上に積極的に取り組んでいる。更に、自らも多数のオリジナル品種を開発し、独自のネーミングで商標登録を行うなど、有利販売を実現している。

(3) 米本氏は、花き振興協議会鉢物部会長やラベンダー研究会長を務められ、妻は長年にわたりグリーンライフアドバイザー、農業士を務められるなど、夫婦ともに本県花き及び農業振興に大きく貢献している。



苗の生育状況をチェック

運営委員会長賞

受賞部門：畜産部門（トップファーマー）

氏名

ひろせ ひろかず
廣瀬 博一

ひろせ けいごう
廣瀬 佳剛

市町名 南島原市

所属団体 島原雲仙農協深江支部
繁殖部会・肥育部会



1 経営の概要

	主品目（肉用牛繁殖）	その他（ ）		合計
作付面積（頭羽数）	繁殖牛 120 頭	—		繁殖牛 120 頭
単収	子牛出荷率 91%	—		—
生産量（販売量）	出荷子牛 110 頭 経産肥育牛 16 頭	—		出荷子牛 110 頭 経産肥育牛 16 頭
労働時間 （うち雇用時間）	8,040 時間 （240 時間）	—		8,040 時間 （240 時間）
家族従事者数	4 人	経営の継続性	後継者が就農済	
労働条件の整備	家族経営協定有			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	堆肥の供給、エコフィードの利活用、自給飼料、抗生剤等使用低減取組、生産履歴記帳、生産履歴に基づく販売、資源循環（地域部門間連携：8 者間）			

2 受賞理由（特徴的な取組）

- (1) 分娩監視、監視カメラ等の ICT 機器の利用や、飼料および血液分析による母牛の体調管理等により分娩間隔が県平均より短い 358 日を実現。地域では生産者および関係機関との巡回を企画実践するなど、地域の分娩間隔短縮に貢献している。
- (2) 人工哺乳技術による子牛の発育向上を図るとともに、放牧場でのドローンによる牧草播種、未利用資源（焼酎粕）の利用、さらに定休型肉用牛ヘルパー



全共侯補牛と一緒に（左：佳剛氏）

- 組合の設立と利用による省力低コスト化を実現している。
- (3) 博一氏は農業士、農業委員、普及指導協力員、繁殖部会長など、佳剛氏は 4H クラブ会長、島原地域肉用牛経営後継者協議会長、授精師会理事などを務められ、また研修生の受け入れや、遊休農地の活用、鳥獣害対策等の地域活動にも積極的に参加され、地域農業に貢献している。

運営委員会会長賞

受賞部門：しまの農林業経営部門（トップファーマー）

法人名（設立年）

株式会社 たにがわのうじょう 谷川農場

（平成 26 年）

代表者名 代表取締役 たにがわ としひこ 谷川 敏彦

市町名 五島市

所属団体 -



1 経営の概要

	主品目（加工だいこん）	その他（飼料稲、麦）	合計
作付面積（頭羽数）	450a	飼料稲 1,200a 麦 600a	2,250a
単収	6,000 kg/10a	-	-
生産量（販売量）	6t	-	-
労働時間 （うち雇用時間）	8,295 時間 (7,515 時間)	3,555 時間 (835 時間)	11,850 時間 (8,350 時間)
家族従事者数	2 人	経営の継続性	法人化済（平成 26 年）
労働条件の整備	就業規則に関する規定有		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	減化学肥料・農薬による生産、生産履歴記帳、資源循環（2者）		

2 受賞理由（特徴的な取組）

- （1）土作りにこだわり、高品質で加工に向くだいこんを生産し、海辺の寒風で干し上げるなど、手間をかけて品質を高めた加工品を作っている。
- （2）実需者ニーズに即した個別包装の商品や、地域商社と連携して開発した商品である「風大根（五島市物産振興協会 PB（プライベートブランド））」を五島の土産物として販売しており、安定した農業経営を展開している。
- （3）地元に根付く企業として、地域雇用の創出、遊休農地の解消、農業体験の受入を行うなど、地域への貢献度も高い。
- （4）加工だいこんの学校給食への提供、高校生と料理レシピを考案し冊子にして配布するなど、単なる加工品の販売だけでなく、今後の加工だいこんの消費拡大に向けた土台作りを行っている。



海辺の寒風で干し上げるだいこん

運営委員会長賞 受賞部門：産地集団部門（いきいきファーム）

しまばらうんぜんのおきょう ありあけにんじんぶかい
島原雲仙農協 **有明人参部会**

代表者名 部会長 しまだ かずひさ
 島田 和久

市町名 島原市、雲仙市

発足・設立年 平成 16 年



1 組織の概要

品目	にんじん	構成員数 (認定農業者数)	135 人 (84 人)	産地規模	185ha (冬春のべ)
販売量	7,619t	販売額	836,995 千円		
単収	4,118g/10a*	単価	110 円/kg*		

※冬春合計

2 受賞理由（特徴的な取組）

- (1) 当部会は 50 年以上前から活動している歴史ある産地であり、また全国を代表する冬・春夏にんじんの産地として 135 経営体、185ha を誇り、島原人参部会と並ぶ西日本の唯一の産地である。
- (2) 露地野菜の所得向上に必須である規模拡大を進めるために、10 を超える品種を組み合わせた長期出荷体系の確立し、大型選別機・冷蔵庫の整備、収穫機の個人導入およびオペレーター付き収穫機貸出システムの実演会を進め、さらに近年では 4 行程同時処理が可能な機械の実演会を行うなどさらなる省力化の検討を進めている。
- (3) 販売面では高温時の品質低下防止策として全国でも先進的な選別工程での冷水通しによる品温冷却処理のほか、ジュース用や畜産飼料用など県内外の幅広いニーズに対応している。
- (4) 担い手関係では、県内でもいち早く担い手育成計画を策定し、現状と将来の見える化を通じて今後の活動計画を検討し、県内の産地維持・発展の模範となっている。



にんじんの選別風景

運営委員会長賞

受賞部門：地産地消・食農部門(いきいきファーム)

ふかえちょうとくさんぶつちよくばいしょ
深江町特産物直売所

代表者名 会長 かわた ゆき 川田 由紀

市町名 南島原市

発足・設立年 平成 17 年



1 組織の概要

品目	農産物、加工品	構成員数 (認定農業者数)	320 人 (63 人)
経営理念	生産者と消費者の相互理解の場、地域コミュニティづくりの場となり、食育を推進する。		
販売額	195,154 千円	施設の利用者数	174,980 人

2 受賞理由 (特徴的な取組)

(1) 町内の小中学校給食及び地元レストラン・福祉施設・病院への食材の提供、JA女性部加工所と連携した特産品を活用したじゃが芋まんじゅうの商品化、職場体験の受入、郷土料理「ろくべえ」の販売や食育の取組など、地元根付いた活動を継続して実践しており、消費者、関係者から高く評価されている。



春の収穫祭

(2) Facebook による情報発信を始めるなど、新たな取組も積極的に実践しており、移動販売・宅配、集荷体制の構築、一次調理食材の提供など今後の取組が期待される。

運営委員会長賞

受賞部門：集落営農・地域営農部門(げんきビレッジ)

のうじくみあいほうじん たけべ た
農事組合法人 岳辺田

代表者名 代表理事 楠本 信夫

市町名 波佐見町

発足・設立年 平成 27 年



1 組織の概要

構成員数 (認定農業者数)	22 人 (4 人)	経営面積	水稻 1.4ha 小麦 20.8ha 大豆 9.5ha 飼料稲 1.0ha ブロッコリー 0.3ha
------------------	---------------	------	--

2 受賞理由 (特徴的な取組)

- (1) 昭和50年代の水田転作組合の設立から、平成18年に集落営農組織、平成27年に集落営農法人と発展し、組織が発展する過程において、集落の全農家が参加して話し合いを進め、地域農業を支える体制を構築している。
- (2) 集落環境を維持するために非農家にも参加を呼びかけて草刈作業等を行っており、集落全体の活性化に取り組んでいる。
また、経営を維持・発展させるために、新技術導入や次世代の人材育成に取り組むことで成果を上げている。
- (3) 集落の全農家が参加して営農体制を構築し、集落環境の維持や経営を維持・発展させる取組は、地域農業の振興に寄与し、他地域の模範となるものである。



ブロッコリー収穫・調整作業



献穀田の抜穂祭

運営委員会長賞

受賞部門：農産加工部門(げんきビレッジ)

のうじくみあいほうじん
農事組合法人

い き せいさんくみあい
杵岐ゆず生産組合

代表者名

代表理事

ながしま くにあき
長嶋 邦昭

市町名

杵岐市

発足・設立年

平成 26 年



1 組織の概要

構成員数	11 人	業務内容	ゆず加工品の開発、販売
経営理念	杵岐産ゆずの付加価値を高め、栄養価が高い無添加食品を供給する。		
商品数	10 品目	販売額	8,439 千円

2 受賞理由 (特徴的な取組)

(1) 昭和 58 年に前進団体である当田ゆず生産組合を設立し、平成 26 年に経営理念「杵岐産ゆずの付加価値を高め、栄養価が高い無添加食品を供給すること」を掲げ法人化。

(2) 6 次化プランナーや JA 加工部会、直売所、地域スーパー等と連携した商品開発や商品のブラッシュアップ、販路開拓に努め、加工商品数は現在 10 種類であり、うち 4 種類が長崎四季畑の認証を得ている。

(3) 杵岐市内の小・中学校の給食センターや病院等で商品名「ゆずの香」が調味料として利用され、学童や地域住民に地元の食材として親しまれており、食育の推進や、農産加工の発展と地域の伝統・食文化にも貢献している。



加工品製造の様子

特 別 賞

特別賞 受賞部門：特別部門

しゃかいふくしほうじん なんこうあいりんかい
社会福祉法人 南高愛隣会

代表者名 理事長 田島 光浩
たしま みつひろ

市町名 雲仙市

発足年 昭和 52 年



1 組織の概要

構成員数	WORK うんぜん【就労継続支援 B 型】 20 人・12 人 TERRACE とらいあんぐる【生活介護】 20 人・18 人 あいりん【就労継続支援 B 型・自立（生活）訓練】 20 人・7 人 ※人数：利用者定員・職員数
活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 雲仙市内の 3 つの障害福祉サービス事業所において知的障害者を中心とする施設利用者が、和牛繁殖、地鶏の飼育、アスパラガス栽培等に通年で取り組んでいる。 施設利用者は、施設外就労により、島原半島の農業者のもとで農作業等を実施している。
活動成果	<ul style="list-style-type: none"> 40 年以上取り組んできた農畜産技術を信頼され、農業者等からの農作業請負の依頼が年々増加し、現在は要望に応えられないほどであり、障害者が地元の農業分野における貴重な働き手となっている。 障害者による丁寧な飼育により、和牛は、県内の和牛共進会で 2 度受賞するなど高評価を得ている。また、牛の発情・疾病を人工知能で検知してスマートフォンに通知するシステムを導入し、省力化(楽農)を実践。 地元 JA から模範的アスパラ栽培の躍進賞を受賞するなど、高い栽培技術を確立し、高い評価を得ることで職員と利用者のモチベーションが向上。 農業分野以外に公園、港湾、公共施設の除草などの施設外就労に取り組んでいる。

2 受賞理由（特徴的な取組）

- 昭和 52 年の設立以来、40 年以上にわたり農畜産業を行い、県内に先駆けて農福連携に取り組んでいる。
- 設立当初から、施設内での農業だけでなく、事業所が農業者から依頼を受け、施設利用者が農場へ出向いて農作業を行う施設外就労にも取り組み、現在は、島原半島の農業者 30 戸での農作業等を行い、施設利用者の職業訓練や工賃向上にも役立つとともに、地元の農業分野における貴重な労働力となっている。



施設外就労によるだいこんの収穫作業